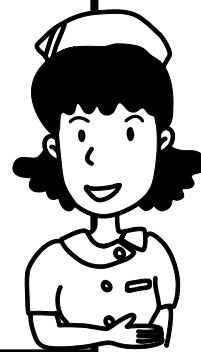


令和3年度 高齢者肺炎球菌ワクチンについて

対象者

(ア) 今年度に下記の年齢になる方で、
過去に成人用肺炎球菌ワクチンを接種したことが無い方

65歳 (昭和 31 年 4 月 2 日～昭和 32 年 4 月 1 日生まれの方)
70歳 (昭和 26 年 4 月 2 日～昭和 27 年 4 月 1 日生まれの方)
75歳 (昭和 21 年 4 月 2 日～昭和 22 年 4 月 1 日生まれの方)
80歳 (昭和 16 年 4 月 2 日～昭和 17 年 4 月 1 日生まれの方)
85歳 (昭和 11 年 4 月 2 日～昭和 12 年 4 月 1 日生まれの方)
90歳 (昭和 6 年 4 月 2 日～昭和 7 年 4 月 1 日生まれの方)
95歳 (大正 15 年 4 月 2 日～大正 16 年 4 月 1 日生まれの方)
100歳 (大正 10 年 4 月 2 日～大正 11 年 4 月 1 日生まれの方)



(イ) 接種日に年齢 60 歳以上 65 歳未満の者で次のいずれかに該当する方
(**確認資料の提出が必要です。**)

- ① 心臓、腎臓又は呼吸器の機能に自己の身の日常生活活動が極度に制限される程度の障害を有する者
- ② ヒト免疫不全ウイルスにより免疫の機能に日常生活がほとんど不可能な程度の障害を有する者

高齢者肺炎球菌ワクチンについて

肺炎球菌ワクチン (23 価肺炎球菌莢膜ポリサッカライドワクチン 「ニューモバックス NP」) は、93 種類ある肺炎球菌のうち、人に感染する危険の高い 23 種類に対し免疫をつけることができます。この 23 種類で、肺炎球菌が原因で起こる肺炎等の感染症の 7 割について効果を発揮するとされています。(肺炎全てを予防できるものではありません)

インフルエンザのように季節性のものではないので、通年で接種することができ、また、毎年接種する必要はありません。

予防接種の副反応について

接種後に注射部位が腫れたり、赤くなったり、熱をもったり、痛むことがあります。ほとんどの場合、特に治療を必要とせず、約 2～3 日で回復します。

しかし、まれにじんましん、呼吸困難や発熱などが現れる場合があります。その場合は接種した医療機関を受診してください。